令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」(事務事業点検シート)

課等名: 保健推進課

シート No.: 23

作成日: 2025.9/19

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅱ 保健・医療・福祉の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	2 市民が相互に支え合う福祉を進める	情報化がすすみ SNS 上では多くの育児情報が飛び交っている現代、核家族化による支援者不足問題を抱える母親も多く、時には情報にふりまわされて不安になったり神経質になったりしてしまうこともあります。 また発達面などにおいても、子育ての中で漠然とした育てにくさを感じながらも、相談先やどう相談したらいいかわからずに悩み孤立してしまう恐れもあります。 定期的な健診や相談事業を通じ保護者に寄り添い、養育者がひとりで悩みを抱え込むことがないように支援していく必要があります。	定期的な育児相談や健診事業については、常総市健康カレンダー、SNS、母子手帳アプリ「母子モ」を通じて周知し相談しやすい体制を整えます。また健診等を通じてお子様の発育状態や発達面における課題を早期に発見し医療や療育など必要な支援につなげます。
	施策	2 少子化対策・子育て支援		
	施策内容	妊娠出産支援の充実		
その他、根拠法令及び分野別計画等	母子保健法 常総市子ども子育て支援計画・健康プランじょうそう			
事務事業名	乳幼児健診事業			

② アクティビティ (活動・事業) とアウトプット (結果)

③ インプット (投入)

アクティビティ (活動・事業)		アウトプット (結果)			インプット (投入)	
活動名・事業名 (対象年)	R6 活動・事業内容	指標 (単位)	R6 目標値	R7 目標値	R6 予算額	R6 決算額
			R6 実績値	R8 目標値		
新生児聴覚検査委託事業 (R6.7.8)	新生児聴覚検査の費用を一部助成しています。	実施者 (人)	244	R7 の出生数	805 千円	638 千円
			239	R8 の出生数		
のびのび子育て相談 (R6.7.8)	月1回子育て相談 (計測・育児相談・栄養相談) を実施しています。	のべ参加者 (人)	200	200	0 千円	0 千円
			155	200		
1歳6か月児健診 (R6.7.8)	問診・計測・診察 (内科・歯科)・相談 (育児・栄養)・フツ化物塗布 (希望者) の内容で年間18回実施しています。	参加者 (人)	275	R7 の対象者数	3,563 (報酬の内数) 千円	3,295 (報酬の内数) 千円
			274	R8 の対象者数		
3歳児健診 (R6.7.8)	問診・計測・診察 (内科・歯科)・相談 (育児・栄養・心理)・フツ化物塗布 (希望者)・尿検査・眼科 (眼位・屈折) 検査の内容で年間18回実施しています。	参加者 (人)	271	R7 の対象者数	3,563 (報酬の内数) 千円	3,295 (報酬の内数) 千円
			296	R8 の対象者数		
5歳児健康相談 (R6.7.8)	5歳児 (年中の年齢) を対象に集団活動・計測・お子様との面談・保護者との面談を実施しています。	のべ参加者 (人)	162	170	1,120 (報償費の内数) 千円	1,050 (報償費の内数) 千円
			109	180		
巡回相談 (R6.7.8)	公・私立の保育所・幼稚園・こども園等に公認心理師と保健師が訪問し、発達や行動面で課題のあるお子様が集団生活の中で生活しやすいように支援を行っています。	のべ巡回回数 (回)	15	17	1,120 (報償費の内数) 千円	1,050 (報償費の内数) 千円
			15	17		
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム (成果)

指標名	目標値	R6 実績値
乳児健診で「育てにくさを感じる」保護者のうち「相談先を知っている」割合	95%	70.4%
1歳6か月児健診で「育てにくさを感じる」保護者のうち「相談先を知っている」割合	95%	79.3%
3歳児健診で「育てにくさを感じる」保護者のうち「相談先を知っている」割合	95%	78.4%
発達相談希望者のうち相談につながった割合	100%	100%

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
新生児聴覚検査費用の一部助成を実施することで、経済的負担の軽減を図ることができました。受診券が使用できない一部の医療機関で出産した場合も、こんにちは赤ちゃん事業 (訪問) の際に償還払いの案内をしています。赤ちゃん訪問時から乳幼児期の健診事業の案内を行い、各健診において個別案内通知にて周知に努めています。また未受診者については、通知や電話での受診勧奨を行っています。発達面の課題が表面化しやすくなる3歳児健診では、心配ごとに対応できるよう公認心理師による心理相談の場を設けています。また、必要に応じて発達相談など客観的に発達状況を確認でき、対応方法を相談できる専門相談の場を案内し育てにくさの解消につなげています。	☐ コスト	☒ 活動	☐ 成果	☐ その他
	今後の方向性 健診や教室の周知は今後も継続して、広報や母子手帳アプリ「母子モ」などの SNS を通じて発信していきます。未受診者に対しても、継続した働きかけを行い、情報不足による保護者の孤立化を防止することに努めます。将来的には、1か月児健診の費用の助成等、さらなる経済的負担の軽減につなげられるよう体制づくりを進めていきます。また、発達面で保護者が不安を感じた時に、早急に専門の相談の場につなげられるように体制を整えていきます。今後も関係機関と連携を取りながら、すこやかな育ちを支援していきます。			